

## 【ベトナム国ロモノソプ中等学校訪問報告】

ロモノソプ学校との交流は、平成20年に高知大学附属学校とロモノソプ初等・中等高等学校との間で交流協定が締結されたことに始まっています。

平成20年度に互いの教員交流が行われ、高知大学教育学部から蒲生教授・谷口教授、附属中学校から山中教諭がロモノソプ学校に訪問し、学校交流協定に調印しました。同年、ロモノソプ学校の校長先生が高知大学教育学部附属中学校へ訪問され、生徒の皆さんに挨拶をして頂きました。

高知大学の教育学部長裁量経費の申請が通り、本年度附属中学生がロモノソプ中等学校に訪問することになり、12月6日(月)～12月11日(土)の日程で生徒代表3名が訪問してきました。

12月のベトナムは気温20度前後で乾期でもあり、比較的過ごしやすい季節です。まず最初に驚いたのは、車とバイクの多さ。道路一面を埋め尽くす様なバイクの波……。ハノイ市内が大変活気のある街でした。

ロモノソプ中等高等学校はハノイ市の郊外に位置し、11才から18才までの生徒が在籍をしています。5階建ての校舎が3棟あり、各階に教室が10程度あります。それぞれのクラスには20～25名の生徒が在籍し、熱心に勉強をしていました。

附属中学校の生徒は14才のクラスに入って授業を受けました。授業はベトナム語と英語で行われており、数学の証明問題など日本の中学校より高度な内容を英語で証明する授業が展開されていました。また、日本語学習クラスでは、日本語をはじめ日本の文化などを学習する姿も見られました。

昼食は給食です。金属製のおわんに米とおかずがのせられ配られます。ベトナムのお米は少し堅めですが、かめばかむほど米のうまみを感じられます。また、野菜などの食材は日本でもなじみのあるものであり、味付けは異なりますがおいしく頂く事ができました。学校が朝7時過ぎからスターとする関係で、昼食後は昼寝の時間があります。

附属中学校生徒3人はロモノソプ生徒の家庭にホームステイをさせて頂きました。それぞれの家庭が大歓迎をしてくださり、実際に寝食を共にすることにより、深くベトナムの文化に触れる事ができました。

今回の訪問で感じた事は、ロモノソプの学生が熱心かつ食欲に勉強をしていることです。また、どの生徒も上手に英語を話すことが出来、我々と同時期にアメリカからの訪問者もいましたが、臆することなく英語で堂々と話をしている姿に驚きました。ちなみに、ハノイ市内の主要な場所(ホテルや空港)等は英語が通じます。

平成23年10月頃、ロモノソプ中等学校から3名の生徒が附属中学校を訪問します。彼らはベトナム語・英語をベースとしながら、日本語も勉強しています。日本の文化や良さを上手く伝える為にも語学や社会などの学習には今以上に力を入れましょう。

また、時差が2時間であることから、インターネットを活用したテレビ会議なども使い、多くの生徒が交流できる方法も考えていきたいと思っています。